



公式試合記録【戦評】



北海道ホッケー協会

男子第86回・女子第65回 全国高等学校ホッケー選手権大会

公益社団法人
日本ホッケー協会

試合番号	試合日	開始時間	種別/プール/回戦	試合会場
23	7月31日(月)	14:30	男子準々決勝	北海学園札幌高等学校人工芝グラウンド(W)

チーム名	鳥取県立八頭高等学校
	鳥取県

1	0	1	Q	0	1
	0	2	Q	1	
	0	3	Q	0	
	1	4	Q	0	

チーム名	栃木県立今市高等学校
	栃木県

2	S O	3
---	-----	---

時間	背番号	氏名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	馬場 風和 (GK)			
×	2	中野 翔太郎 (C)			
×	3	原田 煌久			
×	4	大西 礼斗			
×	5	田中 竜次			
×	6	中口 一輝			
×	7	道端 晴也			
6	8	高木 裕翔			
×	9	林 夏綱			
11	10	小山 桜璃			
×	11	宮脇 壮史			
×	12	酒井 琳太郎			
×	13	柳原 一輝			
	14	藤田 大獅			
6	15	小坂 洋介			

時間	背番号	氏名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	小倉 青波 (GK)			
×	2	篠原 陵佑 (C)			
×	3	原 慎太郎			
×	4	山本 凌太郎	33		
×	5	吉原 侘哉			
×	6	桑原 光輝			
13	7	齋藤 周			
×	8	小倉 千空			
×	9	江田 貴洋			
×	10	植木 海帆			
×	11	台丸谷 悠杜			
	12	齋藤 隼			
	13	小曾戸 拓未			
×	14	佐々木 梨央			
	15	齋藤 洸輔 (GK)			

【戦評】

栃木県立今市高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々今市高等学校がPCを獲得、#2篠原がフリックシュートを放つも八頭高等学校GK#1馬場はそう簡単に先制点を許さない。一進一退の攻防を繰り返す中、今市高等学校#4山本がドリブルで切り込みリバースシュートを放つが、決定打とはならず両者無得点のまま第1Qが終了。第2Q、16分に今市高等学校がPCを獲得し、#3原がプッシュシュートを放つも得点には至らない。八頭高等学校#5田中が右サイドから巧みなドリブルでサークル付近まで攻め込むが、シュートには至らない。23分、八頭高等学校#6中口がフリックシュートでゴールを狙うが枠を捉えることができない。26分、先制点を挙げたい今市高等学校だが八頭高等学校守備陣がそれを許さない。29分、再びPCを獲得した今市高等学校は#3原が鋭いプッシュシュートで先制点を挙げる。0-1で今市高等学校がリードして第2Q終了。第3Q、36分、今市高等学校がまたもPCを獲得、#10植木のフェイントからパスで繋ぎ#3原がシュートを放つが、枠を外れる。八頭高等学校は40分、#12酒井が左サイドからドリブルで切り込みPCを獲得するが、#6中口が放ったリバースシュートはゴールサイドを通過する。続けて42分、八頭高等学校がPCを獲得するも今市高等学校の好守によって得点は阻まれ0-1のまま第3Qが終了した。第4Q、48分、八頭高等学校がPCを獲得するが決めきることができない。52分、対する今市高等学校がPCを獲得するもリードの差は広がらない。55分、八頭高等学校がPCを獲得し#6中口がフリックシュートを決め、試合を振り出しに戻す。60分、今市高等学校がPCを獲得、得点には至らず、SO戦へと持ち込む。SOの結果、2-3で栃木県立今市高等学校が勝利し、準決勝へ駒を進めた。